現場の課題、GPU×量子計算でためしてみました。

ABCI-Q グランドチャレンジ報告会

研究者による成果・活用事例公開

第3回 グラチャレ 報告会



「うちの課題でも使える？」
まずは、その答えを聞きに来ませんか。

2026年3月にスタートした第3回ABCI-Qグランドチャレンジ。採択された研究者が、「何を試したのか」「何がわかったのか」について、現場の視点でお話しします。

2026 **10.29**

15:00 - 16:30

自身の課題に量子計算が使えるか知りたい
ABCI-Qの活用事例を知りたい
実際に利用した研究者の話を聞いてみたい
ABCI-Qの利用を検討中
量子コンピュータを使った研究に興味がある

ハイブリッド開催（つくば市）

会場定員30名

要事前登録・参加無料

プログラム

15:00-15:10

ABCI-Qグランドチャレンジとは

産業技術総合研究所
高野了成



15:10-15:50

モデル情報圧縮を用いた超大規模離散２次最適化ソルバの実証

(株)デンソー
入江 広隆



15:50-16:30

Qubitization-based Quantum Phase Estimation による分子基底状態計算の大規模古典シミュレーション

(株)QunaSys
寺西 勇裕



お申込み二次元コード
10.23 12:00〆

ABCI-Qとは

量子コンピュータを活用したアプリケーションや
ユースケースの創出を目的とする、
量子・古典ハイブリッドコンピューティングの計算基盤です。
GPUを搭載したスーパーコンピュータ「システムH」を
中核に据え、**3種類の量子コンピュータ**で構成されています。

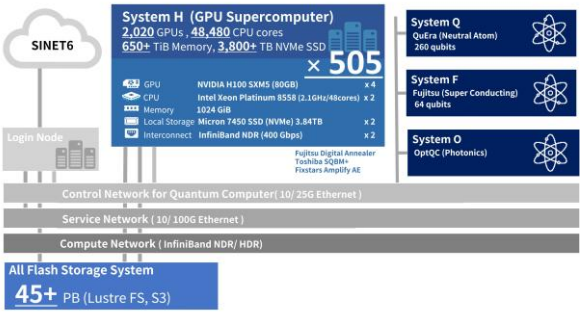
利用方法・料金など詳細はこちら

システムF：超伝導量子コンピュータ

システムQ：中性原子量子コンピュータ

システムO：光量子コンピュータ

- **量子コンピュータとGPUスーパーコンピュータを低遅延ネットワークで結合**
- **様々な量子コンピュータクラウドサービスへのリモートアクセスを提供**
- **材料、金融、創薬などの分野で実用的な量子アプリケーションを開拓中**
- **システムO（光量子コンピュータ）2026年夏構築**



ABCI-Q グランドチャレンジ 参加者募集中！

量子分野の重要課題や、量子技術で解決できる社会的インパクトのある研究を支援します。

- 課題は**公募制**であり、**法人に所属の個人**または**グループ**による提案が可能です。
- ノード障害等により、**提供リソースの一部が利用できない**場合があります。
- 必要に応じ、**産総研との共同研究**として実施いただく場合があります。
- スケジュールなど詳細は **2026年度　ABCI-Q グラチャレ**

会場マップ　【会場変更】お間違えなく！





会場：
2-11棟 2F

つくばエクスプレスをご利用の方
秋葉原駅→つくば駅（最速45分）
バス：つくばセンター→並木二丁目（約20分）、バス停下車徒歩約5分

JR常磐線をご利用の方
荒川沖駅下車
バス：西口4番乗り場→並木二丁目（約20分）、バス停下車徒歩約5分

高速バスをご利用の方
東京駅→並木二丁目（最速60分）、バス停下車徒歩約5分

お車でお越しの方
守衛所にお立ち寄りください。

AIST Create the Future, Collaborate Together
25TH ANNIVERSARY
G-QuAT
ABCI-Qグランドチャレンジ事務局
M-abciq-gc-ml@aist.go.jp